

# 平成30年度綾部市一般会計 特別会計及び公営企業会計決算の概要

未曾有の大災害により財政が逼迫  
事業の見直し、職員給与費等の削減、市債の活用により、  
全ての会計において、黒字又は収支均衡を確保

## 1. 一般会計決算について

### (1) 概要

#### ■ 47年連続黒字

7月豪雨等による厳しい財政状況の中、事業の見直し、職員給与費等の削減による歳出の抑制や市債の追加発行等により、47年連続で黒字を確保

#### ■ 歳入総額 1.8%減

- 市税 46億5,231万9千円 ( 1,427万1千円 0.3%増)
- 府支出金 17億6,384万3千円 ( 7,609万1千円 4.5%増)
- 市債 17億8,350万円 ( ▲4,260万円 2.3%減)
- 繰入金 3億1,934万8千円 (▲3億3,699万9千円 51.3%減)

#### ■ 歳出総額 1.9%減

- 災害復旧事業費 8億5,724万7千円 ( 7億 975万円 481.2%増)  
※ 更に災害復旧事業費13億6,858万6千円を令和元年度へ繰越
- 普通建設事業費 15億3,536万4千円 (▲9億5,693万6千円 38.4%減)
- 7月豪雨等による事業、職員給与費等の見直しによる歳出の抑制  
(3億6,511万6千円削減)

#### ■ 主な財政指標

- 経常収支比率 91.7% (2.4ポイント減)
- 実質公債費比率 9.8% (0.6ポイント減) 過去最も低い数値
- 市民1人当たり市税収入 139,058円 (1.4%増)
- 市民1人当たり市債残高 433,137円 (5.3%増)
- 市民1人当たり基金残高 116,999円 (2.4%増)

## (2) 決算規模等 (別紙1)

『歳入総額』167億8,858万6千円 (前年度対比1.8%減)

『歳出総額』167億5,522万1千円 (前年度対比1.9%減) で  
決算規模は、歳入歳出ともに前年度を下回りました。

『歳入歳出差引』は、3,336万5千円となり、このうち事業の繰越しに  
伴う翌年度に繰り越すべき財源1,475万3千円を差し引いた

『実質収支』は、1,861万2千円で47年連続黒字となりました。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	差 引	増 減 率
歳 入 総 額	16,788,586	17,101,860	313,274	▲1.8
歳 出 総 額	16,755,221	17,077,287	322,066	▲1.9
歳 入 歳 出 差 引	33,365	24,573	8,792	35.8
翌年度へ繰り 越すべき財源	14,753	14,195	558	3.9
実 質 収 支	18,612	10,378	8,234	79.3

## (3) 歳入 (別紙2・3)

### (主な増加科目)

#### ○市税 46億5,231万9千円 (1,427万1千円 0.3%増)

製造業等を中心に企業収益の伸びにより法人市民税が増額 (+1,452万2千円) となった。

#### ○府支出金 17億6,384万3千円 (7,609万1千円 4.5%増)

現年発生農地等災害復旧事業費 (+5,013万8千円)、現年発生林業施設災害復旧事業費 (+5,347万1千円) 等、災害復旧に係る補助金の増加により増額となった。

#### ○財産収入 1億2,077万1千円 (6,299万1千円 109.0%増)

不動産売払収入の増加 (+7,283万円) により増額となった。

### (主な減少科目)

#### ○分担金及び負担金 5,911万2千円 (▲2,495万7千円 29.7%減)

認定こども園 (豊里幼児園) への移行に伴う保育所等運営費の減により減額となった。

#### ○国庫支出金 19億5,138万1千円 (▲6,538万9千円 3.2%減)

現年発生公共土木施設災害復旧事業費 (+1億3,563万5千円) 等、災害復旧に係る補助金は増加したものの、臨時福祉給付金の皆減 (▲1億686万円)、北部産業創造センター整備事業費の皆減 (▲6,000万円) 等により減額となった。

**○繰入金 3億1,934万8千円(▲3億3,699万9千円 51.3%減)**

事業の見直しや職員給与費等の削減、市債の活用により財政調整基金の取り崩しを5年ぶりに回避(▲2億9千万円)。また、地域振興基金繰入金の減(▲1億2,427万円)により減額となった。

**○市債 17億8,350万円(▲4,260万円 2.3%減)**

災害復旧債(+3億7,660万円)、社会体育施設整備事業費【新市民センター】(+3億8,880万円)は増加したものの、中学校給食室整備事業費の皆減(▲1億6,550万円)、東綾中学校校舎改築事業費の皆減(▲1億1,650万円)、栗橋地域し尿処理施設改修事業費の皆減(▲7,490万円)等、普通建設事業費が減額になったことから借り入れが減額となった。

【参考】令和元年度への繰越 5億6,180万円

(内、災害復旧事業4億9,070万円)

**(4) 歳出(別紙2・3)**

**(主な増加科目：性質別)**

**○物件費 25億1,363万6千円(1億3,476万4千円 5.7%増)**

固定資産基礎資料整備事業費の増(+4,930万2千円)等により増額となった。

**○扶助費 31億5,442万7千円(4,350万円 1.4%増)**

平成30年7月豪雨に係る災害等廃棄物処理事業費の皆増(+8,068万8千円)等により増額となった。

**○災害復旧事業費 8億5,724万7千円(7億975万円 481.2%増)**

平成29年度に発生した豪雨災害による復旧事業費(3億5,055万円)について事業が完了し、また、平成30年度に発生した7月豪雨による復旧事業を実施したことにより、大幅な増額となった。

**※平成30年度災害復旧費について、13億6,858万6千円を翌年度へ繰越**

**(主な減少科目：性質別)**

**○人件費 32億9,556万円1千円(▲3,302万9千円 1.0%減)**

人事院勧告[勤勉手当0.05月分引上げ等]の実施の先送り(▲1,020万5千円)や時間外勤務手当の減(▲2,157万4千円)等により減額となった。

**○普通建設事業費 15億3,536万4千円(▲9億5,693万6千円 38.4%減)**

中学校給食室整備事業費(▲2億3,877万5千円)、リサイクル施設整備事業費(▲2億2,789万7千円)、栗橋し尿処理施設改修事業費(▲1億298万5千円)等により減額となった。

**○公債費 12億6,892万6千円 (▲9,616万5千円 7.0%減)**

元利償還金の減により減額となった。

**○繰出金 26億2,915万9千円 (▲2,834万8千円 1.1%減)**

下水道事業特別会計繰出金 (▲2,894万4千円) の減により減額となった。

## 2. 主な財政指標等 (普通会計)

### (1) 概要

■市債残高は3年連続で増加

市債発行額は前年度対比で減となったものの、災害復旧事業や社会体育施設整備事業(新市民センター)などの大型事業の整備により、市債残高は3年連続で増加

■基金残高は5年ぶりに増加

行財政健全化の取組等により、財政調整基金の取り崩しが5年ぶりに回避となり、基金残高も5年ぶりに増加

■経常収支比率は2.4ポイント改善

財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、行財政健全化の取組による歳出の抑制や公債費の減少等により、前年度対比2.4ポイント改善した。

■健全化判断比率等及び資金不足比率は安全圏内

実質公債費比率は、公債費償還額の減少により、0.6ポイント改善し、9.8%【過去最も低い数値】

将来負担比率については、前年度対比4.6ポイント改善し、109.2%

### (2) 財政指標等

(単位：千円、%、ポイント)

区	分	平成30年度	平成29年度	比較等
市	債 残 高	14,491,016	13,903,068	587,948
基	金 残 高	3,914,316	3,862,081	52,235
	財 政 調 整 基 金	1,645,627	1,635,125	10,502
	減 債 基 金	316,471	315,228	1,243
	そ の 他 基 金	1,952,218	1,911,728	40,490
経	常 収 支 比 率	91.7	94.1	▲2.4

### (3) 市民1人当たり指標

(単位：円、%)

区	分	平成30年度	平成29年度	比較等
市民1人当たり市税収入		139,058	137,188	1.4
市民1人当たり市債残高		433,137	411,236	5.3
市民1人当たり基金残高		116,999	114,236	2.4

(平成30年度末住民基本台帳人口：33,456人)

### (4) 健全化判断比率等

(単位：%、ポイント)

区	分	平成30年度	平成29年度	比較等	早期健全化基準
実質赤字比率		—	—	—	13.41
連結実質赤字比率		—	—	—	18.41
実質公債費比率(3か年平均)		9.8	10.4	▲0.6	25.00
将来負担比率		109.2	113.8	▲4.6	350.00
資金不足比率	上水道事業会計	—	—	—	経営健全化基準 20.00
	病院事業会計	—	—	—	
	簡易水道特別会計	—	—	—	
	下水道事業特別会計	—	—	—	
	地域排水事業特別会計	—	—	—	
	住宅・工業団地事業特別会計	—	—	—	

注) 実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字及び資金不足が発生した場合にのみ算出されるもので、会計が黒字等で比率が算出されない場合は「—」と表示

## 健全化判断比率等の解説

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や外郭団体を含めた実質的な将来負担等に係る4つの指標（健全化判断比率）と公営企業ごとの資金不足率（資金不足比率）を議会に報告し、公表することが義務づけられている。

- 【実質赤字比率】** 一般会計等の赤字の程度を指標化したもので、一般会計等の赤字額／標準財政規模で求められる数値
- 【連結実質赤字比率】** 市のすべての会計の赤字・黒字を合計した場合の赤字の程度を指標化したもので、全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字／標準財政規模で求められる数値
- 【実質公債費比率】** 標準財政規模に占める実質的な公債費（他会計の公債費に対する一般会計繰出金等を含む。）に費やした一般財源の割合を表す数値（過去3か年平均）
- 【将来負担比率】** 地方債や今後、他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など将来負担していく可能性のある負担の年度末時点における残高を指標化したもの
- 【資金不足比率】** 企業会計の資金不足（赤字）の程度を指標化したもので、それぞれの企業会計の資金不足額／それぞれの企業会計の事業の規模で求められる数値

### 3. 平成30年度の主要施策

- 「医・職・住・教育・情報発信」をキーワードに、
- 将来への種まきや子育て・教育環境の充実等に向けた施策
  - 市民生活に寄り添うきめ細やかな施策の推進など

誰もが安心して『住み続けられるまちづくり』を推進

#### ■ 「医」 = 医療・福祉・介護・子育て ほか

寄り添い

- 聴覚・言語障害者向け緊急通報システム整備事業費（328万7千円）  
簡単かつ迅速に119番通報ができるシステムを整備
- 物部保育園改修事業費（3,976万2千円）  
園舎の改修による保育環境の整備

#### ■ 「職」 = 農・林・商・工・観光 ほか

- 農地中間管理機構関連農地整備事業費（1,711万6千円）  
農地の区画整理（下位田地区：豊里）
- あやべ温泉施設改修事業費（6,563万5千円）  
露天風呂、脱衣所等の施設整備

#### ■ 「住」 = 安全安心、インフラ・公共施設・定住促進 など

- リサイクル施設整備事業費（896万4千円）  
リサイクル施設の整備に向けた設計
- 駅再生プロジェクト事業費（1,547万5千円）  
地域活性化と利用促進を図るためJR山家駅前の整備

#### ■ 「教育」「情報発信」

- 社会体育施設整備事業費【新市民センター】（8億5,977万円）  
建築本体、電気設備工事等
- 小学校大規模改修事業費（692万7千円）  
給食調理室空調設備の整備

#### ■ 度重なる豪雨災害への復旧対応

- 公共土木施設災害復旧費（3億4,933万5千円）  
道路、河川 71件
- 農林水産業施設災害復旧費（3億2,733万3千円）  
農地187件、農業用施設87件
- 応急災害復旧費（1億2,730万4千円）  
道路、河川、水路、防護柵等の応急復旧 535件

## 『医』…誰もが安心して住み続けられる優しいまちづくり

子育て世代包括支援センター事業費	4,069 千円
物部保育園改修事業費	39,762 千円
綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の 促進に関する条例推進事業費	寄り添い 1,895 千円
聴覚・言語障害者向け緊急通報システム整備事業費	寄り添い 3,287 千円
コミュニティナース事業費	8,644 千円

## 『職』…産業を守り産業を起こし、働く場と働く人を確保

農地中間管理機構関連農地整備事業費	17,116 千円
黒谷和紙ステップアップ支援事業費	2,144 千円
北部地域連携都市圏ステップアップ事業費	2,312 千円
緊急人材確保対策事業費	625 千円
ものづくり交流館管理運営費	7,287 千円
あやべ温泉施設改修事業費	65,635 千円

## 『住』…災害に強く人にも環境にも優しい安全安心のまちづくり

宮代豊里線整備事業費	11,178 千円
宮代豊里線整備事業費（繰越）	5,196 千円
味方平線整備事業費	5,862 千円
黒谷川整備事業費	5,200 千円
道路整備事業費	32,967 千円
橋りょう長寿命化対策事業費	29,590 千円
橋りょう長寿命化対策事業費（繰越）	37,230 千円
防災基盤整備事業費	13,798 千円
災害時応急対策整備事業費	寄り添い 4,025 千円
総合防災訓練事業費	390 千円
リサイクル施設整備事業費	8,964 千円
駅再生プロジェクト事業費	15,475 千円

## 『教育』・『情報発信』…次世代を担う子どもたちを育み豊かな社会づくり 情報発信に努め綾部ファンの増加

小学校大規模改修事業費	6,927 千円
小学校トイレ改修事業費（繰越）	23,387 千円
社会体育施設整備事業費	859,770 千円
新図書館整備検討費	426 千円
国宝光明寺二王門整備費補助事業費	3,147 千円
山家城址周辺史跡調査事業費	4,272 千円
大学連携推進事業費	389 千円

## 『度重なる豪雨災害への対応』

現年発生公共土木施設災害復旧事業費	181,973 千円
現年発生公共土木施設災害復旧事業費（繰越）	167,362 千円
現年発生農地等災害復旧事業費	118,026 千円
現年発生農地等災害復旧事業費（繰越）	109,951 千円
現年発生林業施設災害復旧事業費	38,593 千円
現年発生林業施設災害復旧事業費（繰越）	60,763 千円
現年発生その他公共施設・公用施設災害復旧事業費	19,162 千円
現年発生社会教育施設災害復旧事業費	4,439 千円
応急災害復旧事業費	127,304 千円
災害等廃棄物処理事業費	80,688 千円

他

### 『市民に寄り添うきめ細やかな施策』

子育て世帯を対象とした各種届出窓口業務の時間延長	対応件数：532件
こにちは赤ちゃん事業費	136千円
子育て世代包括支援センター事業費	2,100千円
入学支度金交付事業費（要・準要保護児童生徒援助費）	5,286千円
配食サービス事業費（介護保険特別会計）	2,409千円
手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する 条例推進事業費 ※再掲	1,895千円
聴覚・言語障害者向け緊急通報システム整備事業費 ※再掲	3,287千円
障害者地域生活支援事業費	3,320千円
高齢者と子育て世代にやさしいあやバス運賃に改正 65歳～69歳健康長寿券発行枚数：180枚	
福祉のガイドブック配布事業費	20千円
期日前投票所の増設事業費	183千円
土のうステーション設置事業費（災害時応急対策整備事業費）※再掲	3,386千円
ふるさと納税PR・交流事業費（水源の里活性化事業費）	79千円

## 4. 特別会計決算について

### (1) 概要

■ 10 特別会計のすべての会計において、黒字又は収支均衡

### (2) 決算収支（別紙1）

### (3) 平成30年度の主要施策

#### ● 駐車場特別会計

- ・ 綾部駅南駐輪場移設事業費 6,307千円
- ・ 綾部駅南駐車場用地購入事業費（土地開発基金保有地の買戻し） 10,000千円

#### ● 簡易水道事業特別会計

- ・ 山家西簡易水道統合整備事業費（配水管整備等） 69,812千円
- ・ 上林簡易水道整備事業費（実施設計業務） 5,292千円

#### ● 下水道事業特別会計

- ・ 由良川左岸整備事業費（管きよ整備等） 380,352千円
- ・ 由良川左岸整備事業費【繰越】（管きよ整備等） 556,929千円
- ・ 由良川右岸整備事業費（測量等） 14,840千円
- ・ 由良川右岸整備事業費【繰越】（測量） 6,048千円
- ・ 雨水対策事業費【繰越】（設計等） 50,526千円

#### ● 地域排水事業特別会計

- ・ 特定地域生活排水処理事業費（浄化槽整備） 43,415千円

## 5. 公営企業会計決算について

### (1) 概要

■上水道事業会計は、36年連続黒字

■病院事業会計は、3年ぶり黒字

(主な要因)

- 医業収益が前年度比 185,744 千円の増  
(H30 : 6,355,194 千円 H29 : 6,169,450 千円)
- 特に、入院収益は診療報酬改定等により 184,302 千円の増  
(H30 : 3,166,649 千円 H29 : 2,982,347 千円)

### (2) 決算収支 (別紙1)

### (3) 平成30年度の主要施策

●上水道事業会計

・配水施設改良事業費 (配水管布設替等) 104,237 千円

●病院事業会計

・医療機器等整備事業費 (機器等整備) 222,032 千円